

第三十回 (株) USEN 番組審議会 議事録

開催日時：平成 22 年 9 月 8 日 13:00～

開催場所：(株) USEN ミッドタウンタワー38F

ボードルーム

出席者 委員：小林亜星、有馬祐行、山本武司、湯川れい子、富澤一誠、大林宣彦（順不同・敬称略）

放送局側：8名

議事内容

1. 会社動向、放送事業についての報告

- (1) 9月より新会計年度がスタート。放送事業への一層の注力を行っていく。
- (2) 堅調な業務店マーケットでは病院、学校など新しい業種の開拓を行うとともに、営業休止状態にあった個人宅マーケットへの営業も再開、積極的に推進する。

2. 番組課題

「美食空間向けジャズ」(10/1 スタート新番組)について

3. 番組審議

【放送局】

BGM 利用の少ない高級飲食店向けのチャンネルとして、1) あくまでも料理と会話が主役＝音楽が主張しすぎない、2) 美食家を満足させる本物志向の音楽、3) その空間にいるすべての人に違和感を持たせない、を条件に、往年の名プレイヤーのソロ演奏を集めて編成した 10/1 スタートのジャズチャンネル。審議委員の方々には、事前にデモ音源をお聴きいただいた結果をもとに議論していただきたい。

【審議委員】

高級店向けということ、音質が非常に重要になる。必然的に録音状態の良い名演を集めることになり、曲数を揃えられるかどうかポイント。アーティストのランナップは良いと思う。第二次大戦直後の芸術性の高いアーティストを一度洗い出してみると良い。また、演奏の編成は多くてトリオまでに留め、テンポも Largo (ラルゴ) 程度が良いかもしれない。食事をする時間の長さも考えて編成をするべきだろう。営業戦略を練り、高級店向け BGM の象徴となるようなチャンネルになることを期待する。

【放送局】

食事をする時間の長さということを考えると、同じ雰囲気曲だけを連ねるのか、あるいはときどきスパイスとして違う雰囲気の曲を入れるのか、現在検討中である。お聴かせしたデモ音源のほとんどはソロ・ピアノ曲にしたが、一部にギター・ソロ、ピアノ・トリオも敢えて加えてみた。その点についても意見をいただきたい。

【審議委員】

ピアノやギターに加えるとしたら、ワイヤーブラシ、ベースを加えたトリオ編成くらいまでだろう。ただ、アドリブの掛け合いが入ってくると、ちょっと違うという気がする。ならば思い切ってソロ・ピアノだけに限定してみても良いのでは。バド・パウエル、レニー・トリスターノ、ビル・エヴァンスらが素晴らしい録音を残している。

また、ゆっくりと食事を楽しんでいると、2時間では足りず3時間くらいになることはままあるので、少なくとも3時間くらいは同じ曲が流れないような楽曲数、編成が必要だろう。その3時間の中に、ときどきアップテンポの曲が入ることは問題ないと思う。

【審議委員】

チャンネルとしてはとても良いものができそうだと思うているが、そもそも高級飲食店にBGMは必要とされているのか？

【放送局】

確かに店内は無音が良いという高級飲食店は根強くあるが、このチャンネルで更に一步先に行く店舗演出を提案していきたい。また、BGMが適度に雑音をかき消してくれるという効果もある。まずは期間限定でデモ機を設置させていただき、このチャンネルの良さをわかっていただいた上でご加入いただくという施策も考えている。

【審議委員】

よく刺身を食へに行くのだが、確かに無音のお店が多い。しかし、刺身に良く合う酒があるように、そこに良く合う音楽を加えてみるのも、面白いと思う。会食相手を一人で待っている時や、ひとしきり話が盛り上がった後、チルアウト状態になってデザートを食べている時などには、音楽が欲しくなる。その際、自分があまり詳しくない音楽が、さりげなく流れているのが良い。そういう意味でもチャレンジとしてこのチャンネルは面白いと思う。

【放送局】

ジャズ・スタンダードといわれる曲は、多くの人にとって耳馴染みの曲だが、テーマ以外のほとんどの部分はアドリブ・ソロになるので、音楽として主張しなくなる。そういう意味でも、ジャズはBGMとして適している。

【審議委員】

コンセプト、そしてソロ・ピアノという選択は非常にスマートで正解だと思う。しかし一方で、寿司を食べる時には静寂が一番だと考える人はまだまだ多い。そこに敢えてBGMとしてジャズを提案するからには、より積極的に、料理に負けないジャズをぶつけるべき。セロニアス・モンク、マル・ウォルドロンあたりはどうか。BGMに必要なのはムードではなくリズム間。モンクやウォルドロンの音楽は高級店に合うリズム＝間合いを持っている。寿司職人が寿司を握る間合いにも近いものがある。とは言え、モンクの音楽をずっと聴きながら食事するのは辛い。静寂とソロ・ピアノを適度に織り交ぜたチャンネルにしてみても良いのではないかな。

【審議委員】

個人的に楽しめるチャンネル。ジョージ・シアリングはビートルズと並ぶアイドルだった。高級割烹料理店は、茶道の考え方に基づいているお店が多く、静寂が良いという考えが根強い。ルーツを辿ればジャズはダンスミュージックだが、ソロ・ピアノは聴かせる音楽。居酒屋であれば良いと思うが、高級料理店は難しいかもしれない。高級料理店を狙いつつ、それに準ずるクラスのお店にも売れるといい。また、ホテルのロビーなどにも合うだろう。

【審議委員】

「H-11 スロー・ジャズ」との差別化は？

【放送局】

「H-11 スロー・ジャズ」は、ホテル・ラウンジ向けとしてスタートした。ビル・エヴァンス以降のプレイヤーから選んでいる。

【放送局】

本チャンネルは、小さな音量で使っていただくことを想定している。お客さんの人数が少ないときにはほどよく聴こえ、人数が多く盛り上がっている時にはほとんど聴こえなくなる音量が最適と考えている。

【審議委員】

高級なバーにも良いのではないかと感じたが、そういったお店では高級向けジャズとカジュアル向けジャズの区別がつきにくい。

【放送局】

高級だが面積の広くないお店にお勧めするチャンネルとして、今回ソロ演奏のチャンネルを投入するが、面積の広いお店に対してはまた違うものを考えていく。

【審議委員】

ただ、前提条件をつめすぎて、制作サイドとして選曲の幅が狭くなりすぎないようにしなくてはならない。

【放送局】

今回、当審議会としては初めて、放送スタート前のチャンネルについて審議したが、非常に有意義な意見をいただくことができた。10月のスタートに向けて、さらに細部の検討を行う。